

9月29日(月) 【ニューデリー2025 世界パラ陸上競技選手権大会 コメント】

◆男子 400m決勝(T36 クラス・脳原性まひ)

松本 武尊 (AC・KITA) 5 位

「すごく悔しいです。他の選手がタイムを予選から上げてきたのに自分の対応力が落ちていたかな。次こそは必ずメダルを取りたい。自分の走りの的には満足だった。自分には良いと思っていた 9 レーンで走ることが、あまり前の人との差が見えなかったのも 8 レーンくらいが良かったかもしれない。次は 100m。自分では期待しています。」



◆男子 100m(T13 クラス・視覚障がい) 予選

川上 秀太(アスピカ) 予選・決勝進出

「スタート練習の時に若干ふくらはぎをつりかけてしまっただけで安全に走りました。戻ってケアして明日に臨みたい。(昨日の久野選手のメダル獲得に) 僕自身もうれしいし次は自分の番だなと思っているので明日の決勝で自分の走りを追求したい」



◆男子 400m (T20 クラス・知的) 予選

臼木 大悟(十八親和銀行) 予選敗退

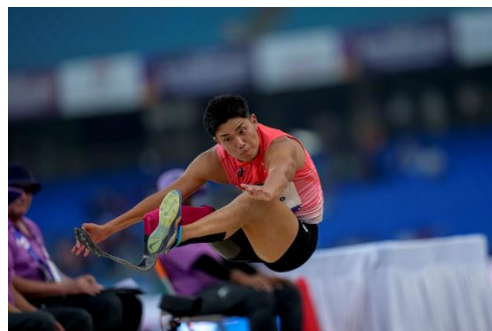
「後半離されてしまった。これが世界の差なんだなと感じた。暑くて後半バテてしまった。悔しいです。今日の反省をこれからフィードバックして練習していきたい」



◆男子走り幅跳び (T63・義足) 決勝

近藤 元(積水化学工業) 8 位

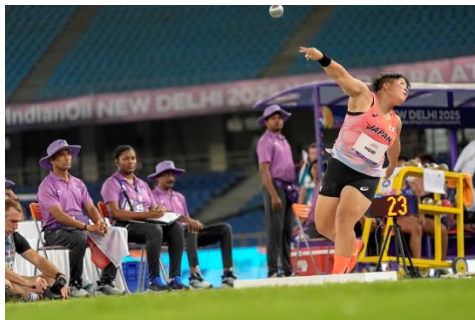
「結構走れていたけれど踏切が合わなかった。2 本目くらいから足がつりかけていて 3 本目に何とか跳んで 8 番に残った。自分の調子も上がっていてメダルも狙っていたのだが、力んでいたかもしれない。会社の方々が日本からもインド支社からも来ていただいて声援していただいてとてもありがたかった。結果がうまくいかず申し訳ない気持ち」



◆女子砲丸投げ (F20・知的) 決勝

**堀 玲那（GROP SINGERITE WORLD-AC）10 位**

「昨年神戸で 7 位の結果で今大会はそれ以上の結果を出すつもりでいたので悔しい。しっかり調整もできて自信もってフィールドに入ったが自分の力不足だった。自己ベストさえ出せれば決勝に残れたラインだったので自分自身が情けない。悔しいの一言。来シーズンの最初からランキング 8 位以内に入れるようにしっかり練習したい」



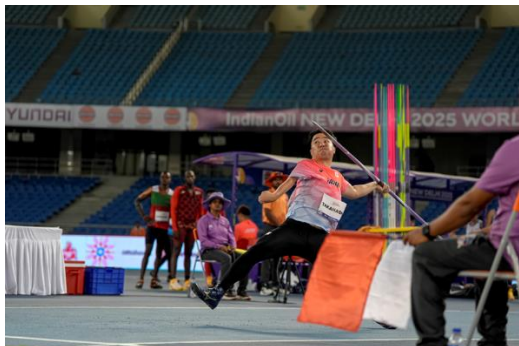
**◆男子やり投げ（F46・上肢障がい）決勝**

**高橋峻也（トヨタ自動車）6 位**

「6 投目の記録を 1 投目から投げれるようにしないといけない。そこが自分の課題。記録的にはまずまずで、メダル獲得には 65m 以上は投げないといけない。この冬、今回の反省を生かして頑張りたい。会社の方々も来ていただいて自分の横断幕も掲げてくれてすごい力になり感謝しています。」

**山崎晃裕（順天堂大学職員）7 位**

「1 投目でシーズンベストを出すことを決めていて、それはクリアできたが、2 投目からリズムが崩れてしまった。助走の流れからもっと落ち着いて入れたら流れが変わったかもしれない。今年から新しい技術にトライしているので 65m の数字を見てロスに向けてトライしていきたい。インド選手もいてインドコールもありすごく良い雰囲気競技できた。その中で日本頑張れの声もありとても感謝しています」



#### ◆男子 1500m (T11 クラス・視覚障がい) 予選

##### 和田伸也（長瀬産業）・長谷部匠ガイド 決勝進出

「まずは失格にならないように走った。明日の決勝は他の選手達は強いので胸をかりるつもりで一つでも前の順位でゴールできるように頑張ります。」 和田

「今日とても良い感覚で走れたと思うので、今日の感覚を決勝でぶつけてメダル争いをしていきたい」 長谷部

##### 唐澤剣也 (SUBARU)・堀越翔人ガイド 決勝進出

「シーズンベストでの 2 位通過にまずは決勝進出を目指しました。堀越ガイドが初めての 1500m のガイドでしたが落ち着いていて自分も安心して走ることができていました。明日の決勝は、チームでこれから話し合ってメダルを目標に走りたい」

